

感染症発生状況

令和8年1月28日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年1月19日（月）～1月23日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 298名 【職員】 25名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 59名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（93名）、咳鼻水（76名）、下痢腹痛（41名）、嘔気嘔吐（35名）

疾病別：胃腸炎（40名）、新型コロナウイルス感染症（16名）、気管支炎・肺炎（3名）、
溶連菌感染症（2名）

【職員】 症状別：嘔気嘔吐（8名）、熱（4名）、咳鼻水（2名）

疾病別：胃腸炎（9名）、インフルエンザ（3名）

**休み明け2週間経過して、B型インフルエンザと新型コロナ感染が流行拡大しています。
皆様ご注意ください。**

【疾病別の発生状況】

胃腸炎	厨川地区、河北地区、盛南地区で増加しました。 河南地区で減少しました。
新型コロナウイルス感染症	厨川地区、河北地区で増加しました。
気管支炎・肺炎	玉山地区で増加しました。盛南地区で減少しました。
溶連菌感染症	厨川地区で増加しました。河北地区、都南地区で減少しました。

【県の状況（1/12～1/18）】

インフルエンザの定点当たり患者数は 5.76 人となりました。年齢階層別では全体の約 8 割が 10 代以下となっています。県環境保健研究センターの検査では、AH3 亜型及び AH1pdm09 亜型が検出されています。今後は B 型の流行も懸念されます。手洗い、手指消毒、咳エチケット等基本的な感染予防対策が重要です。症状がある場合は、感染を広げないようにマスクを着用のうえ受診をしましょう。

感染性胃腸炎の定点当たり患者数は増加し、6.89 人となりました。ノロウイルス等の胃腸炎ウイルスは消毒用アルコールが効きにくいいため、石けんと流水による手洗いが重要です。調理や食事の前、トイレの後は手洗いをしましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は減少し、0.63 人となりましたが、釜石、中部地区で警報値（2.0 人）を超えています。こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

水痘の定点当たり患者数は減少し、0.44 人となりましたが、二戸地区では警報値（2.0 人）を超えています。水痘はいわゆる「みずぼうそう」のことで、主に小児の疾患ですが、まれに成人でも感染する場合があります。空気感染、飛沫感染、接触感染により広がります。予防にはワクチン接種が有効です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】